実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和８年度
助成団体	公益財団法人日本少年野球連盟
事業細目名	スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ）
事業名	第 26 回ボーイズリーグ鶴岡一人記念大会
助成金額	2,316,000 円

スポーツ団体スポーツ活動助成を受け、公益財団法人日本少年野球連盟が行っている「第２６回ボーイズリーグ鶴岡一人記念大会」の実施状況について調査を行いました。

本事業は、全国の小中学生を対象とした硬式野球大会として８月２０日から２２日にかけて静岡県各地で開催され、今回で２６回目を迎えました。

調査当日の静岡県草薙総合運動場（しずてつスタジアム草薙）では中学生の部の準決勝と決勝戦が行われ、全国各地の選抜チーム及び開催地の静岡県選抜チームを加えた計６チームで熱戦が繰り広げられていました。

■助成の意義

令和６年度から当助成金を活用したことで、大会 PR 動画の配信や試合のライブ配信等を拡充することができ、視聴回数は年々増加傾向にあり競技の全国的な普及に寄与しているそうです。中でも特に女子の部の人気が急上昇しており、以前は人数不足で選抜チームを結成できない地域ブロックも存在していましたが、現在は男子と同様に全ブロックで選抜チームを結成できるようになり、女子野球競技発展の土台となっているそうです。

■事業効果を高めるための取り組み

本事業については入場料を設けないことで、どなたでも気軽に競技の臨場感を体感することができ、上記のように試合のライブ配信も実施することで現地観戦が難しい方であっても全国各地から観戦が可能となっています。また、チラシ等での広報に加え、近年は SNS を活用して大会の PR を積極的に行う等、より多くの方々に観戦いただくための工夫をされているそうです。

開催地についても、春季全国大会の東京、夏の全国選手権大会の大阪以外の地域で毎年開催地を変えて実施することで、全国的な競技普及に繋がるだけでなく各地域の活性化にも貢献しているそうです。

■所感

近年は各スポーツにおいて熱中症対策が大きな課題となっています。本事業においても試合途中に１０分間のクーリングタイムを設け、開会式の最中にも選手に飲み物を持たせ座って参加してもらう等の工夫をされており、今後は気温が高くなる日中の時間帯での試合を避けるため朝と夕方の二部制の導入も検討されているそうです。安全面での取り組みに加え、SNS を活用した情

報発信や試合のライブ配信の導入等、今後も永続的に大会を開催していくために、あらゆる最善策を模索し時代の変化に柔軟に対応されていることが確認できました。

また、選手達が競技へ真摯に取り組み礼節をもって接する姿勢から、日頃の練習の成果を競い合うだけにとどまらず、青少年の健全育成に資する取組であることを感じました。

今後も引き続き、少年野球の普及及び競技力向上に寄与し、地域スポーツ振興として大きく貢献していくことを期待しています。

（令和８年８月２２日往査）

（写真）第２６回ボーイズリーグ鶴岡一人記念大会の様子



